

こうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXT【令和2年度実績】

元気スタイル1 「こども輝くまち」を創る

これまでの子育て支援に加え、「子育て」を力強く応援し、未来を担う子ども達が夢や希望を持ちながら、充実した教育環境のもとで目を輝かせて学び、心豊かにそしてたくましく成長できるまちを創ります。

1 くらしと学びの応援創り

1 子ども条例の制定と子育ての推進

【概要】

子どもに関わる全ての大人が地域ぐるみで子どもの成長を見守り、応援するとともに、子育ての取組の方向性を示した「子ども未来プラン」の着実な推進を図るため、子どもの権利を守り成長を応援する「子ども未来応援条例」を制定します。
また、子どもの権利を尊重し、子どもの育ちを市全体で応援することを目的とした「子ども未来応援条例」の普及啓発を図り、条例に基づいた子育て施策を推進します。

【令和2年度実績】

- ・「甲府市子ども未来応援条例」の概要版を作成し、周知を行った。
- ・子ども未来応援施策に基づく事業実施に向け、子どもを応援する団体等との連携を図った。
- ・学習支援や子ども食堂等の活動を行う方々と意見交換を行ったほか、学生ボランティアやボランティア団体の協力のもと、各種イベントを開催した。
- ・有識者3名を「甲府市子どもの権利擁護委員」として委嘱し、青少年センターに寄せられた相談内容について情報共有を図り、相談対応に関するフローの構築やカウンセラーへの助言を行った。また、権利擁護委員会議を2回開催した。

2 子ども応援センターを核としたネットワークの構築

【概要】

地域における子育て支援の担い手の育成や、学習支援等を含む子どもの交流・相談の場づくり等の活動を支援するネットワークの整備、市内小中学校を対象とした学用品等を中心にリユース事業の実施など、子どもが健やかに成長できる仕組みづくりを推進します。

【令和2年度実績】

○子どもの交流・相談の場作りへの支援
・西庁舎に甲府市子ども応援センターを移設し、子どもを応援する団体が活動できる場所を確保するとともに、甲府市子ども応援センター及び甲府市国母教育プラザ1階（月曜のみ）で「放課後学びくらぶ事業」を行った。（令和2年9月より62日開催、生徒延べ126名、ボランティア延べ203名が参加）

○学用品等リユース事業
・中学校5校、小学校2校の7校の協力のもと、回収及び提供を実施した。（中学校5校（南・北西・城南・東・西） 小学校2校（伊勢・相生））

○空き家の活用
・補助制度の利用促進のために啓発小冊子を作成し、空家所有者に送付した。
・子育て支援施設として利活用可能な空家の調査を実施するとともに、子育て関係団体等との協議を行った。

3 時代に即した学習の支援

【概要】

国際化・情報化（情報技術）などが進む中、世界で活躍できる人材や情報技術の知識・技能を習得した人材などを育成するため、高速大容量の通信ネットワークを整備するとともに、児童・生徒1人1台端末を整備するなど教育のICT化を進め、学習意欲の向上と、「主体的・対話的で深い学び」を推進します。

【令和2年度実績】

- ・学校ネットワーク環境の整備が完了した。
- ・1人1台端末の整備については、年度内に2校（舞鶴小、善誘館小）が納品となった。（他校は令和3年5月31日納品予定）
- ・GIGAスクールサポートスタッフ事業の推進については、セキュリティポリシー等を作成するとともに、全校を対象とした教員研修を実施した。

4 学校環境の向上

【概要】

学校施設長寿命化計画を策定し、老朽化が進む小中学校のトイレを衛生的で機能的なトイレ環境へと年次的に整備するとともに、通学路・避難路に面するブロック塀等の所有者に対して、ブロック塀等の撤去・改修工事費の一部を助成するなど、子どもたちの学習及び生活の場である学校施設等の環境改善を進めます。

【令和2年度実績】

①【小中学校 学校施設長寿命化計画】

- ・学校施設長寿命化計画を策定した。
- ・小学校3校及び中学校2校のトイレリニューアル工事を実施した。

②【私有ブロック塀等の撤去・改修費助成事業】

- ・ホームページや広報に掲載を行うとともに、庁舎や公民館に掲示を行い啓発を図った。
- ・9月、10月、11月に戸別訪問を行い、433件の周知を行った。
- ・ブロック塀等に関する電話や窓口などの相談に対応し、補助申請の受け付けた。

2 たくましさ創り

5 子ども運動遊びを推進するプレイリーダーの養成

【概要】

子どもの運動能力の更なる向上に向けた人づくりとして運動遊びを効果的に実践できるプレイリーダーや指導者の育成を図るとともに、プレイリーダーを介して保護者と子どもが運動遊びを体験できるイベントを開催し、子どもの健全な心身の成長を応援します。

【令和2年度実績】

- ・新型コロナウイルス感染症に配慮する中で、プレイリーダー研修会を実施した。

6 子ども運動遊び場の提供

【概要】

幼児教育センターなど既存施設を活用し、子どもの健全な心身の成長に必要な幼児期における「遊び」を中心とした身体活動をいつでも楽しめるよう「運動遊び場」を提供します。

【令和2年度実績】

- ・甲府市子ども屋内運動遊び場条例を制定するとともに、「運動遊び場」のオープンに向けて遊具設置等を行った。
- ・甲府市子ども屋内運動遊びプレイリーダーを採用した。
- ・愛称を公募し、「おしろらんど」に決定した。

7 遊亀公園及び附属動物園の整備

【概要】

子どもがいきいきと元気に遊べる場として、また、子どもからシニアまで多くの市民が集い憩える場として、遊亀公園及び附属動物園を一体的に整備し、賑わいと交流を創出していくとともに、より一層親しまれ誇れる動物園を目指します。

【令和2年度実績】

- ・実施設計に反映させるため、遊亀公園に設置する遊具のアンケート調査を実施し、調査結果について隣接する自治会長に対し説明会を開催した。
- ・実施設計の成果に基づき、工事発注を行い、令和3年3月に事業者が決定した。

【概要】

次代を担う若者が「甲府」について主体的に考え、夢や想いを伝える機会を創出することにより、市政への興味・関心を高め、将来的なまちづくりの担い手の育成へとつなげるとともに、地域ぐるみで子育てを応援する機運の醸成や、子育てに関する取組のPRを図るため、子ども未来フォーラムを開催します。

【令和2年度実績】

- ・令和元年度の甲府みらい会議で提案された「高校生の居場所づくり」を具体的に検討するため、再度、高校生から意見を聞くように努めた。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休校措置等により、授業が優先となり、余暇時間の確保が困難となったことを踏まえ、高校生と市長との意見交換の実施内容及び実施について検討した。

元気スタイル2 「健康といきがいのまち」を創る

市民一人ひとりが、住み慣れた地域で「いきがい」や「きずな」を大切にしながら、いつまでも健やかで活躍できる「元気 City こうふ」を創ります。

1 健康の好循環創り

9 健康支援センターの拠点機能の発揮

【概要】

市民の生涯を通じた総合的な健康づくりを進める「健康支援センター」が、その拠点機能を発揮し、健康づくりに関する教室を開催するなど、身近な地域で様々な保健事業や子育て支援事業を展開することにより、「ひと」、「地域」、「まち」の健康づくりを推進します。

【令和2年度実績】

- ・地域ごとの健康課題を抽出し、「あなたの地区の出張保健室」に向けた年間計画（31地区）を策定した。
- ・北部山間地域での「あなたの地区の出張保健室」の開催した。
- ・「あなたの地区の出張保健室」での集団教育を実施した。
- ・全市、各地域組織会議等での健康教育を実施した。
- ・フレイル予防に関する多職種会議を開催した。
- ・フレイル予防に関する測定会を開催した。
- ・介護予防、健康維持を目的としたリーフレットの作成、広報誌等を活用しての普及啓発を行った。
- ・DOTS支援員の任用、「DOTS支援事業実施要領」の策定、個別患者支援計画に基づくDOTS支援を実施した。
- ・ウィズコロナ、アフターコロナに対応するため、住民が主体的に自宅でも取り組むことができるフレイル予防のためのセルフチェック表（案）を作成した。

10 健康都市こうふの推進

【概要】

「健康都市宣言」の市民一人ひとりが自分自身の健康意識を高め、自ら健康づくりに取り組むことができるよう、地域でのつながりや支え合いをより一層深めるとともに市民の心と身体の健康を支えていくという考えのもと、市民・地域・行政が一体となった健康づくりを推進します。

【令和2年度実績】

- ・ロゴマークの制定について募集を行い、多数の応募の中から選考委員会、一般投票を経て、ロゴマークを決定した。
- ・新規健康づくり事業の実施に向けて、関係部署と協議する中で実施内容等の詳細を検討した。
- ・新規健康づくり事業として健康ポイント事業の構築を行い、令和3年度事業実施に向けた準備を進めた。
- ・新規健康づくり事業として健康リーダー養成講座事業の構築を行い、令和3年度事業実施に向けた準備を進めた。
- ・新規健康づくり事業として健康チャレンジ表彰事業の令和3年度事業実施に向けた準備を進めた。

11 緑が丘スポーツ公園の再整備

【概要】

市民の健康増進・体力づくりに寄与し、生涯スポーツ活動の拠点となるよう、緑が丘スポーツ公園の再整備を計画的に行います。先行して、県が施工する緑が丘アクセス道路整備の影響を受けるテニスコート【Aコート】や、野球場と船出広場のそれぞれ一部を整備し、その他施設の更新を検討します。

【令和2年度実績】

- ・実施設計業務委託の発注を行い請負業者が決定した。
- ・事業の進捗状況及び今後の予定について地元連合自治会長と近隣自治会長に対して説明会を行った。
- ・各種協議団体への説明会を開催し、施設の規格、規模等について協議を行った。

12

地域・職域連携の推進**【概要】**

市内における小規模事業所（従業員50人未満）の従業員等を対象とした「生活習慣病等予防講習会」を実施するなど地域保健と職域保健との連携を深める中で、健康情報の共有や保健事業の共同実施などに取り組み、生涯を通じた健康づくりの充実を図ります。

【令和2年度実績】

- ・新たにチラシを作成し、あらゆる機会を通じて関係機関に周知するとともに、「生活習慣病予防講習会」を実施した。また、HPから健康に関する情報を発信した。
- ・協会けんぽ、国民健康保険課、地域保健課の3者で保健事業に関する情報共有と無関心層への働きかけの工夫について情報交換を実施した。
- ・産業支援サイトHP掲載や、工業協会加入事業所等への効果的な情報発信を行った。

2 いきがいとぎずな創り

13

いきがいインフォメーションの推進**【概要】**

市民が自分に合った「いきがい」を見つけ、充実した人生を送れるよう、市ホームページ上に特設サイトとして、「生きがいプラス」を開設し、市民にとってわかりやすく、選択ができ、活用できる各種セミナー等の情報提供を行います。

【令和2年度実績】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、開設を見合わせていた特設サイトについては、6月からの公民館等の再開を受け、実施可能な事業を整理・入力したうえで7月に開設した。
- ・市が実施する「いきがい」に資する事業の情報提供をした。
- ・山梨県生涯学習推進センターの講座等の情報を、特設サイトにて定期的に情報提供をした。

14

地域で支え合う福祉サービスの創設**【概要】**

一人暮らし高齢者や認知症高齢者等が増加する中、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の実情に応じた地域包括ケア体制の構築に向け、住民をはじめとする多様な主体が参画した通いの場や生活支援などのサービスを充実させることで、高齢者の暮らしを地域で支え合うサービス提供体制づくりを進めます。

【令和2年度実績】

- ・協議体の設置に向けて、5地区（穴切、千塚、春日、中道、上九一色）で地域代表者等と打合せを実施した。既に協議体を設置している5地区（朝日、玉諸、伊勢、国母、相川）において意見交換等会議を開催した。
- ・「困りごと訪問サポート事業」（一般介護予防事業）の制度を構築した。「笑顔ふれあい訪問サポート」（訪問型サービスB）は、令和3年4月開始に向け事業の準備に着手した。

15

防災リーダーの育成**【概要】**

防災活動の中心的な役割を担う自治会役員や地元住民に加え、新たに民間企業の従業員や外国人市民に対して積極的に働きかけを行い、防災リーダーとして育成・登録し、災害時に地域で活躍できる幅広い人材を確保します。また、自主防災組織と連携した防災活動を行うことで、自治会、企業、外国人市民が一体となり地域のきずなを強めるとともに、事業所等における防災士資格の取得の支援により、更なる地域防災力の向上を図ります。

【令和2年度実績】

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、参加人数を制限する必要があったため、広報紙及びラジオのみで防災リーダー研修受講者の募集を行い、研修会を開催し、年度内に59名を登録した。
- ・防災士の資格取得支援に伴い、山梨県に対し22名の推薦を行うとともに、自治会からの推薦者4名への助成を行った。

元気スタイル3 「女性活きいきのまち」を創る

個性や能力を活かしながら、職場、地域、家庭など様々なステージで活躍する女性を応援し、それぞれが思い描くライフスタイルを実現できるまちを創ります。

1 活躍創り

16 「日本女性会議2021 in甲府」の開催

【概要】

2021年の日本女性会議の開催に向け、「甲府らしさ」を創出した日本女性会議となるよう市民と産学官が連携・協働して取り組むなかで、甲府で活躍する女性たちの取組を積極的に発信し、更なる男女共同参画意識の醸成を図ります。

【令和2年度実績】

- ・4月に第3回実行委員会を開催するとともに、9月に第4回実行委員会を開催し、各部会の進捗報告等について討議した。
- ・9月に10分科会を設立、10月に第1回分科会を開催した。また、進捗状況等報告のため、2か月に1回程度、分科会正副リーダー会議を開催した。
- ・11月13日(金)～15日(日)開催の「日本女性会議2020あいち刈谷」大会に、オンラインで参加した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から11月16日～12月19日をプレ大会開催期間に設定し、展示会、オンラインマルシェ等を分散かつ継続した形式で開催した。大会最終日には、プレ大会ファイナルとして、女性活躍優良事業者等の表彰などの式典とオンラインによる落合陽一氏による講演会と市民・学生による意見交換会を行った。

17 女性たちで創るマルシェの実施

【概要】

「マルシェ」を通じて女性の活躍と交流の場を創出するとともに、夢を叶え起業した女性や、起業を目指して活動している女性たちの姿を「男女共同参画フォーラム」等において広く市民に知っていただき、多くの女性を応援する機運を高めます。

【令和2年度実績】

- ・当初は、甲府市総合市民会館にて、プレ大会とマルシェの同時開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、プレ大会開催期間を設け、各イベントを分散かつ継続した形式で開催し、マルシェは11月16日～12月18日にWEB上でオンラインマルシェを開催した。
- ・オンラインマルシェについては、ウェブ上の専用サイトで物販を行うほか、ウェブ会議システムを用い、購入者が商品についての質問等を出店者と直接会話できる機会や、商品についての思い等を話せるライブ配信など、オンラインマルシェならではの企画を開催した。

18 「こうふまちづくりラウンジ」の実施

【概要】

市内で活躍する様々な分野の女性たちが集い交流する機会「こうふまちづくりラウンジ」を提供し、女性の視点や感性でまちづくり等をテーマに意見交換を行うとともに、参加者相互の連携を促進し、ネットワークの形成を図っていきます。

【令和2年度実績】

- ・6月にこうふまちづくりラウンジ検討テーマを決定し、7月に委員10名を選定した。
- ・8月に第1回こうふまちづくりラウンジを開催し、委員による意見交換を行った。
- ・9月に第2回こうふまちづくりラウンジを開催し、テーマ「時間も方法も自由に選べる働き方で、家事も仕事も両立しやすい環境へ」について意見交換を行った。
- ・11月に第3回こうふまちづくりラウンジを開催し、テーマ「地域で活躍する女性を増やそう」について、意見交換を行った。
- ・令和3年3月に第4回こうふまちづくりラウンジを開催し、市長への活動報告書の提出を行うとともに、市長との意見交換を行った。

2 ライフ・デザイン創り

19 女性活躍等に係る提案支援

【概要】

女性活躍等の普及・啓発に取り組んでいる市民団体等から、ワークライフバランスや女性の就業・起業など女性の活躍に係る企画事業を募集し、効果や成果が期待できる事業の実施に要する経費の一部を助成することで、女性の多彩な活躍をアシストするとともに、「甲府市女性活躍支援サイトなでしこプラス」を活用し、その取組を発信していきます。

【令和2年度実績】

- ・6月8日～7月31日まで企画提案事業を募集し、2件の応募があった。
- ・8月18日に、応募のあった提案支援事業についての審査会を開催し、採択事業1件を決定した。
- ・1件の採択事業に対して補助金を交付し、女性の多彩な活躍をアシストした。

20 女性の就業・起業の応援

【概要】

継続した起業研修会の実施や資金調達面での支援など、女性による起業を後押しするとともに、合同企業説明会において、再就職を希望する女性と企業にマッチングの場を提供し、女性の再就職を支援します。

【令和2年度実績】

- ・各窓口センター等へのチラシ配布、市広報、市HPやSNSでの募集を行い、先輩起業家の現場見学会を含む起業研修会（セミナー3回、見学会1回）を実施した。
- ・「女性おうえん資金」について、HPや広報誌、チラシの配布等により、制度の周知を行った。
- ・個別に相談したい場合や起業等に向けてのアドバイスを聞ける機会を提供するなど、個別相談に応じる中で、起業に向けた支援やフォローアップを行い、女性達のコミュニティの拡充を図った。
- ・令和2年10月7日に甲府市就職応援合同企業説明会、12月16日に労働セミナーを開催した。

元気スタイル4 「潤いと活力あるまち」を創る

地域資源の魅力や地場産業の競争力を高めて、人や新たな産業を呼び込むとともに、リニア時代を見据えた都市基盤の整備や、安全安心な地域づくりを進め、賑わいと活力があふれるまちを創ります。

1 地域産業・未来産業創り

21 キャッシュレス化の推進

【概要】

キャッシュレス決済事業者や民間事業者、関係機関等と連携してキャッシュレス化を推進し、本市におけるキャッシュレスの取組を誘引・活発化させることで、商業の活性化や市民の利便性の向上を図るとともに、インバウンドをはじめとする観光の振興を図ります。

【令和2年度実績】

・キャッシュレス決済によるポイント還元キャンペーンを9月1日から1ヶ月間実施し、キャッシュバックは約1億円、直接消費額は4億円となり、QRコード決済の導入及び利用促進と併せ、飲食店等の消費喚起につながった。
・がんばろう甲府！最大30%戻ってくるキャンペーン第2弾を12月1日から2ヶ月間実施し、キャッシュバックは約4億円、直接消費額は15億円となり、QRコード決済の導入及び利用促進と併せ、飲食店等の消費喚起につながった。

22 販路開拓の支援

【概要】

地場産品に係る海外トップセールスやプロモーション活動を実施するとともに、事業者が国内外の展示会等へ出展する際の支援、海外販路開拓等を行う際の基本事項等を学ぶセミナーの斡旋、甲府市産業支援サイトを活用した情報発信を行うなど販路開拓を支援し、地場産業の振興を図ります。

【令和2年度実績】

・「覚書」締結について、タイ王国大使館と協議を行い、令和3年4月に締結することとなった。
・「甲府市地場産業販路開拓支援事業補助金交付要綱」に基づき、山梨県彫刻美術協同組合に補助金交付決定を行った。
・ワインのプロモーションについては、JTBパブリッシングと連携し、信玄公生誕500年に向けたラベルやチラシを作成するとともに、刊行している情報誌（ノジュール2月、3月号）へ掲載した。

23 観光客の誘客促進

【概要】

こうふ開府500年、東京オリンピック・パラリンピックなどを契機に、本市の観光資源である歴史、ワイン、ジュエリー、伝統、そして昇仙峡や甲府名山などを最大限活用して外国人を含む観光客を誘引する施策を実施するとともに、第2次甲府市観光振興基本計画を見直す中で交流人口の増加による観光振興と地域の活性化、本市の認知度の向上を図ります。

【令和2年度実績】

・JTBパブリッシングとの連携事業として、るるぶキッチンビルディングにおいて、「甲府市フェア」を実施（11月17日～12月31日）し、新メニューの開発・販売のほか動画放映・パンフレット設置配布・物販等による誘客プロモーションを展開した。また、「るるぶ河口湖富士山麓御殿場'22」に甲府市特集記事を掲載した。
・甲府名山へ標柱を14基設置した。残り6基については、令和3年度前期に設置を完了する。
新型コロナウイルス感染症の影響により、多大な影響を受けた事業者への支援として、「観光事業者等衛生対策補助金」の創設や「甲府へ泊まろうキャンペーン（第1弾、第2弾）」を実施した。

24	新産業・未来産業の立地促進
<p>【概要】 新たな成長産業や未来産業を見据え、企業の動向及び進出ニーズ等のリサーチを行う中で企業を訪問し、情報交換を行いながら、特定機能補強地区を中心に民間開発を視野に入れた産業立地を促進します。併せて、受け皿となる事業用地確保のための仕組み等を構築し、企業立地を支援します。</p>	
<p>【令和2年度実績】 ・コロナ禍においては、県外企業への訪問が難しい状況であるため、県内企業等を中心に、オンラインによる面談を取り入れながら、情報交換を行った。 ・新規の訪問企業の中で、サテライトオフィスを設置した企業があった。</p>	

25	農業への最先端技術の普及
<p>【概要】 「甲府市産業ビジョン」に掲げる「稼ぐ力の向上」に向けて、ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、農作業の省力化や効率化を図るスマート農業の普及を推進することにより、「稼ぐ農業」を実現するプロファーマーの育成を進めるとともに、農業者の労働力不足の解消を図ります。</p>	
<p>【令和2年度実績】 ・昨年度に引き続き、ICTを活用した気象観測センサーにより、いちご栽培データを蓄積した。 ・パワーアシストスーツ及び電動剪定ハサミを貸し出す中で、すでに自身の経営に導入した農業者が現れた。</p>	

2 未来へと続く住みよい暮らし創り

26	リニア新時代を見据えた都市環境の創出
<p>【概要】 人口減少・少子高齢社会等の社会的課題を踏まえ、リニア開業効果を最大限享受し、豊かな自然を活かした潤いのある生活環境と活力ある都市環境の共生につなげるため、「甲府市リニア活用基本構想」に基づくまちづくりプロジェクトを推進します。</p>	
<p>【令和2年度実績】</p> <p>①甲府市リニア活用基本構想の推進 ・15のまちづくりプロジェクトに係る41の取組について、リニア活用推進委員会（幹事会）を開催する中で、前年度実績と今年度上半期における各取組の進捗状況を確認した。 ・リニアサミットについて、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年度の開催を見送ることとした。また、来年度の開催に向けて改めて事業内容を検討した。</p> <p>②リニアK Sプロジェクトの推進 ・リニア近接地域における一部エリアの市街化区域編入について、県の都市計画に位置づけられるよう協議を行った。 ・組合施行による土地区画整理事業の促進のため、地域住民と意見交換を行った。</p>	

27	都市計画道路の整備
<p>【概要】 未整備の都市計画道路を効率的、効果的に整備するため、「都市計画道路整備プログラム」に基づき、順次事業化を図ります。</p>	
<p>【令和2年度実績】 ・城東三丁目敷島線については、1月に幅員縮小の都市計画変更を行い、2月に事業認可を取得した。 ・住吉四丁目善光寺線については、11月に説明会を開催し住民合意形成を図る中、2月に都市計画変更を行い、3月に費用対効果の分析を完了した。 ・高畑町昇仙峡線については、3月に費用対効果の分析を行った。</p>	

28

持続可能な地域公共交通ネットワークの形成**【概要】**

将来にわたって市民の移動手段を確保し、安全で快適な生活環境を形成するため、「甲府市地域公共交通網形成計画」に基づく施策を中心に、課題解決に向けた取組みを進め、持続可能な公共交通ネットワークを形成します。

【令和2年度実績】

- ・ユニバーサルデザインタクシー補助申請を2件（3台）受け付けた。
- ・宮本・能泉地区および上九一色・中道地区コミュニティバス事業、代替バス委託を実施した。
- ・路線バス観光周遊モデルルート「思い出作りは路線バスで」（4ルート）を公表した。
- ・サイクルアンドライド駐輪場設置施設を5施設拡充した。
- ・小中学校の児童生徒及び高齢者を対象に出前講座を実施した。

29

防災拠点の整備**【概要】**

災害応急活動に応じた機能を複合的に有する防災活動の拠点（下飯田防災用地）を整備し、大規模災害時における対策の充実を図るとともに、地域防災力の中核を担う消防団の本部拠点（甲運分団本部拠点施設）を整備し、地域コミュニティにおける防災力の強化を図ります。

【令和2年度実績】

- ・（下飯田）管理・運用に関する内容について地域へ説明を行い、供用を開始した。
- ・（甲府市消防団甲運分団本部拠点施設）12月末に完成し、1月末に落成式を行った。2月から地域防災の活動拠点として供用を開始した。

30

地域防災力の強化推進**【概要】**

地域住民が協力し合い、助け合う「自助」と「共助」の更なる充実・強化を図るため、地区防災計画のアフターフォローやハザードマップの周知をはじめ、将来地域の担い手となる子どもたちへの防災教育を推進するとともに、市内に居住する外国人市民に対して防災研修会等を行うなどのソフト面に加えて、災害時配布用の「液体ミルク」や災害時貸出用等の「スコップ」を新たに備蓄し、引き続き地域防災力の強化推進を図ります。

【令和2年度実績】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、アフターフォロー研修の実施が困難であったため、対象の51自治会に対して電話連絡や個別訪問によるアフターフォローを実施した。
- ・防災動画を作成し、自治会、避難所運営委員会、小中学校に配布するとともに、市ホームページで公開する。（R3.4月）
- ・市内に居住する外国人市民に対して2回の防災研修会等を実施した。
- ・水害時に市民が適切な避難行動をとることができるよう、地域の水害避難マップ及びマイ・タイムラインを作成し、「水害避難の地区研修会」を玉諸地区で実施した。

【概要】

環境問題の課題解決のため、全ての世代が環境に関する正しい知識を持ち、興味や関心を高め自ら行動に移せるよう、年齢に応じた環境教育を進め環境保全意識の醸成に取り組むとともに、クリーンエネルギーの更なる普及促進や、ごみの減量に向けた取組も進めます。

【令和2年度実績】

【①環境教育】 幼稚園・保育所：25園、小学校（放課後児童クラブ・放課後子供教室含む）：4校、中学校：1校、高校：1校、大学：1校、その他：4団体（家庭教育学級・出前講座・自治会等）

【②クリーンエネルギー普及促進】 助成：蓄電池単体設置：71件、太陽光と蓄電池の同時設置：53件、ペレットストーブ：4件

【③廃棄物の減量化・再資源化の推進】 ごみへらし隊による出前講座（自治会関係 4回、保育園・幼稚園 20回、小学校 2回、高校 1回、大学等 3回、焼却工場見学（小学生）8回、親子活動 1回）、エコ工作（保育園・幼稚園 4回）、動画配信 4本（ごみの分け方・生ごみ水切り方法・ミックスペーパー分別方法・プラスチック製容器包装分別方法）、中小規模事業者に対する適正・分別排出の訪問調査（836回）、市内大学へごみ排出方法等の情報提供（山梨学院大学・県立大学・英和大学・山梨大学）

元気スタイル5 「故郷が好きなまち」を創る

開府500年を契機に甲府市の宝である歴史や伝統・文化等を未来にしっかりと継承するとともに、未来を託す人材（人財）の育成や地域資源の掘り起こしなど新たな宝を創造し、故郷こうふを大切に思うまちを創ります。

1 こうふ愛創り

32 故郷こうふの学びの推進

【概要】

甲府の重層的で多様な歴史・伝統・文化等を再認識する「私の地域・歴史探訪」や、次の時代を担う子どもたちが甲府について自ら学び、自らの言葉で発表する「ラーニング・スピーチ」を展開し、「故郷こうふ」への誇りと愛着を育み、未来に向けたひとづくり・まちづくりに繋げていきます。また、小学校における社会科教材「私たちの甲府市」を改訂し、子どもたちの郷土愛の育みを支援していきます。

【令和2年度実績】

- ・「私の地域・歴史探訪」（魅力発信事業：ファニーのぐるぐる甲府ウォーキング）を24地区で開催した。
- ・甲府市社会科研究会（市立小学校教員、山梨大学附属小学校教員）と協議を行うなかで、社会科資料集「わたしたちの甲府市」を作成し、令和3年3月に市立小学校25校に送付した。

33 「甲府市の歌」の普及

【概要】

学校、地域、様々なイベントや各種団体の活動の場など、本市を象徴する歌である「甲府市の歌」を歌う機会を増やし、「甲府市の歌」の普及を図る中で、市民の一体感や郷土愛を更に育んでいきます。

【令和2年度実績】

- ・「甲府市の歌」の楽譜を合唱用・吹奏楽用に作編曲した。
- ・「甲府市の歌」の普及を図った。
- ・「甲府市の歌」認知度アンケートを実施した。

34 新たなプロモーション発信ツールの創造

【概要】

市政情報、市民の活動や活躍、産物の紹介、観光スポットなど従来の様々なコンテンツに加え、SNS活用世代をターゲットに、若者に向けた動画やメッセージ性の強いPR動画など、よりリアルタイムに、よりキャッチーな情報を発信するとともに、直接、県外各地の自治体等を訪問し、人と人のふれあいの中「フェイスtoフェイス」で甲府ブランド（産物、施策など）を積極的にプロモーションするなど、新たなツールの創造によりプロモーション効果を高めます。

【令和2年度実績】

- ・コロナ禍で動画による事業実施を希望する部署と連携して動画の制作・配信を行い、職員のスキル向上を図った。
- ・新たな情報発信ツールとして「LINE」の検討を行い、公式アカウントの申請を行った。

2 新たな宝創り

35 歴史を感じられる甲府城エリアの整備

【概要】

「お城がつなぐまち甲府城周辺地域」をコンセプトとした「甲府城周辺地域活性化基本計画」に基づき、賑わいの創出及び中心市街地の活性化を図る中で、風格のある、歩いて楽しい歴史を感じられる空間づくりを行います。

【令和2年度実績】

甲府城周辺地域活性化計画整備事業

- ・4月に測量設計補償算定業務委託を発注し、5月に委託業者が決定した。
- ・旧甲府税務署跡地南側における測量・建物調査及び道路設計業務が完了した。
- ・6月に解体工事を発注し、7月に工事業者が決定した。
- ・旧甲府税務署跡地南側における民間活力の導入に向けたサウンディング調査を実施した。
- ・3月に旧税務署跡地における解体工事が完了した。

36 史跡等を巡る「散策ルート」の創出

【概要】

国史跡の武田氏館跡・要害山・甲府城跡を巡る新たな散策ルートを創出し、甲府の歴史・文化・伝統の魅力を市民や来訪者に発信することで甲府の歴史的ブランド力を高めるため、各史跡とその周辺にある文化財を紹介するマップや、説明板等のサインを作成し、信玄ミュージアムなどを拠点に周遊を促進する仕組みを作ります。

【令和2年度実績】

- ・史跡要害山の現地調査とあわせ、支城の熊城の調査を実施した。
- ・既存の文化財の説明板の点検を行った。
- ・「ぶらり歴史探訪」については、新型コロナウイルス感染予防のため、参加人数を縮減し実施した。
- ・史跡要害山については、樹木や草木を専門とする講師を招いて散策会を実施した。
- ・信玄誕生地と伝わる積翠寺にある指定文化財説明板の修繕を実施した。
- ・要害山の各所にある門跡、竪堀、井戸、曲輪等の看板に、スマートフォン等で説明を見ることができるよう、QRコードを貼付した。
- ・甲府城跡については、社会科資料集「わたしたちの甲府市」に、市内にある5つの国指定史跡の1つとして掲載した。

37 「ドリームキャンパス」の推進

【概要】

未来を託し次代を担う人材の育成に向けて、甲府大使や甲府にゆかりのある著名人、地域で活躍する匠などを「夢の先生」に迎えて授業を行い、多くの子どもたちに夢を持つことの素晴らしさ、大切さを伝える「ドリームキャンパス」を開催します。

【令和2年度実績】

- ・通常のこうふドリームキャンパスを36校にて夢の先生を迎え、授業を実施した。

38 甲州人の活躍や歴史などを伝える「語り部こうふ」の創出

【概要】

歴史ボランティアガイドが「語り部」となり、信玄ミュージアム等を拠点として本市の歴史・文化・伝統を市民や県外からの来訪者に伝え、歴史的魅力を次世代に継承していくとともに、来訪者等を介して本市の歴史や魅力を全国に発信します。

【令和2年度実績】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止処置として2月末から6月まで信玄ミュージアムが臨時休館となるとともに、感染率の高い首都圏からの来訪者の割合が多いことなどからガイド活動は休止した。
- ・甲府歴史ボランティアガイド研修は、令和2年9月と令和3年3月の2回開催するとともに、令和3年2月26日に開催したシンポジウムへの参加を促し、武田氏に係る知識を深めた。

元気スタイル6 「世界がつながるまち」を創る

国際教育の充実により国際感覚のあるグローバルな人材を育成するとともに、外国人留学生やインバウンドによる地域活力の増進を図り、世界から人が集まるまちを創ります。

1 グローバルな人材創り

39 地域国際交流の推進

【概要】

国際交流アンバサダーや多様な主体と連携した国際交流機会の創出等により、出前講座や外国人留学生との交流イベントなど幅広い世代で国際交流活動を活発に行うことで、市民の国際理解と国際感覚の醸成を図ります。

【令和2年度実績】

- ・コロナ禍において交流事業が実施できない中、SNS（FacebookやInstagram）等を活用し本市の観光スポット等の魅力を多言語により世界各地へ情報発信を行った。
- ・テレビ・新聞等を活用し、国際交流員により本市のPRを行った。
- ・幅広い年齢層の市民や各種団体に対して、出前講座「ファニー・オランジュのフランス文化講座」を開催した。
- ・甲府市ウォーキングマップを活用し信玄公ゆかりの地を地域住民と外国人留学生が歩く～YBSテレビ「ファニーのぐるぐるウォーキング」～を制作し、SNS等により情報発信を行うとともに、全県下に信玄公生誕500年のPRを行った。（放映期間：令和2年9月～令和3年2月末）

40 国際教育の推進

【概要】

保育所や放課後児童クラブ等へ留学生等を派遣して読み聞かせを行うなど、外国語や異文化に触れ合う機会を創出し、幼少期から外国語への興味を抱かせるとともに、外国人留学生による英会話教室など各年代に合わせた国際交流活動を通じて国際性豊かなグローバル人材の育成に取り組みます。また、小学校における外国人英語指導講師（ALT）を増員し、学校での国際教育を推進していきます。

【令和2年度実績】

- ・「信玄公の子孫と巡るゆかりの地歴史探訪」に外国人留学生が参加し、本市の歴史を学ぶとともにSNS等を通じて世界に情報発信を行った。
- ・市内児童館や幼稚園等へ出向き国際交流員による出前講座「フランス文化講座」を開催した。
- ・YMCAと連携し小学生を対象に「ディスカバリーフランス」を開催した。

2 海外活力による賑わい創り

41 東京2020オリンピック事前合宿とホストタウン交流の推進

【概要】

東京2020オリンピックにおけるフランス卓球・レスリングチームの事前合宿の受入れを行い、選手が本大会に集中して臨めるよう環境を整える中で、スポーツの振興とともに日本文化の発信とインバウンド観光の促進に繋げていきます。

【令和2年度実績】

- ・フランス卓球・レスリング連盟と本市での事前合宿の実施について協議を行った。
- ・オリンピックの延期により、事前合宿受入れに関する事業の見直しを行った。
- ・コロナ禍において、フランス卓球・レスリングチームから市民へ向けて「おうちでできる運動」メッセージ動画をいただき、その御礼として、市内の子供たちによる激励メッセージ動画を両連盟へ送付した。
- ・ZOOMにより、フランスのホストタウンによる横連携会議を実施し、来年の開催へ向けて国や他の地方自治体と意見交換を行った。
- ・フランス卓球・レスリング連盟とオリンピック延期に伴い実施協定書の再締結を行い、事前合宿の受入れについて確認を行った。
- ・山梨ダイハツ販売(株)より、フランスカラーにラッピングした応援車両を寄附していただき、職員が移動時に活用しオリンピックの機運醸成を図った。
- ・(株)KADOKAWAと連携し、フランスとの交流に関するストーリーを元にした4コマ漫画を作成し、フランス及び日本国内へ情報発信を行った。
- ・内閣官房オリパラ事務局よりホストタウンの模範となる市町村や個人に与えられる「優良情報発信賞」特別賞・「ホストタウンリーダー賞」を受賞した。

42 外国人留学生の応援

【概要】

外国人留学生を様々な場面で応援することにより、海外から多くの留学生を呼び込み、定住促進や地域経済の活性化を図るとともに、外国人留学生のネットワークを活かした国内外への情報発信力の向上によって交流人口の増加を目指します。

【令和2年度実績】

- ・外国人留学生に対する奨学支援を行うとともに、コロナ禍での外国人留学生の受入支援を行った。
- ・コロナ禍において、国際交流員のTV番組（健康ウォーキング）に外国人留学生が同行し地域住民と交流を図るとともに、信玄公にゆかりのあるスポットを巡り母国語と日本語でSNS等により情報発信を行った。
- ・「信玄公の子孫と巡るゆかりの地歴史探訪」に外国人留学生が参加し本市の歴史を学ぶとともに、SNS等を通じて世界に情報発信を行った。
- ・山梨学院大学主催の「アフリカフェスティバル」・「ロシア大使講演会」の開催を支援し、学生・市民が参加し国際理解を深めた。また、コロナ感染症対策のためオンラインによる同時配信を行った。
- ・山梨大学において、外国人留学生に対する奨学支援を行うとともに、コロナ禍での外国人留学生の受入れ支援を行った。
- ・甲府市ウォーキングマップを活用し、信玄公ゆかりの地を地域住民と外国人留学生が歩く～YBSテレビ「ファニーのぐるぐるウォーキング」～を制作し、SNS等により情報発信を行うとともに、全県下に信玄公生誕500年のPRを行った。（放映期間：令和2年9月～令和3年2月末）

43 外国人を対象とした就業機会の創出

【概要】

産業人材として活躍する機会を創出するため、市内での就職を希望する留学生をはじめとする外国人が、市内企業に就職できるよう、合同企業説明会を実施し、外国人の就業と企業の雇用確保を支援します。

【令和2年度実績】

- ・令和2年10月28日にハローワーク甲府管内（5市1町）で外国人を対象とした就職ガイダンスを開催した。
- ・就職ガイダンスにてアンケート調査を行った。

元気スタイル7 「タフで優しい市役所」を創る

中核市甲府の役割を果たせる人材の育成と持続可能な行財政運営を進めるとともに、市民に寄り添い、市民と協働のまちづくりを推進し、市民に信頼される市役所を創ります。

1 成長する人材と組織創り

44 民間企業などの職務経験者等の活用

【概要】

民間企業や公的機関で培われた知識や経験を市政に活かせる人材を採用し、「経営感覚」や「顧客重視」の発想などを職員に浸透させ、職員の意識改革と組織の活性化により更なる市民サービスの向上を図ります。

【令和2年度実績】

- ・民間企業等職務経験者にかかる募集要項を作成し、周知・募集（8/24～9/25）を行った。
- ・民間企業等職務経験者にかかる第1次試験（10/18）・第2次試験（11/14）を実施した。
- ・先進自治体の事例研究を行った。
- ・職務経験者等採用職員のフォローアップと効果の検証を行った。

45 先進都市派遣研修等を活用した自律型人材の育成

【概要】

先進事例の研修や視察をなお一層充実させ、新しいノウハウの修得や職員意識のイノベーションを図ることにより、前例に捉われない柔軟な発想や意欲を持ってチャレンジできる自律型人材（人財）の育成に取り組みます。

【令和2年度実績】

- ・「提案参加型方式」による先進事例視察研修で2件7名を派遣した。
- ・「人材マネジメント部会」へ職員3名を派遣し、5回のオンライン研究会へ参加し、職員へ研究成果の報告会を実施した。
- ・（一社）自治体国際化協会のプログラムを活用した自治体の事例研究を実施した。

46 キャリア・スキル（実績・実力）重視の人事制度

【概要】

職員が、自らの志向や適性を活かし、やりがいを感じながら職務に精励できる環境を整えるとともに、昇任試験や人事評価結果を活用し、キャリア・スキル（実績・実力）を重視した昇任や適材適所への配置を実施することで、市民ニーズへの的確な対応とサービスの向上を図ります。

【令和2年度実績】

- ・キャリア形成のための新たな仕組みについて調査・研究し、新たな取組案を作成した。
- ・新人事評価制度の評価結果の検証及び課題の整理を行った。
- ・課長昇任試験、主幹制度の課題整理及び見直し内容の検討を行った。

47 執行体制の最適化の推進

【概要】

内部組織を統制する仕組みの充実を図るとともに、現場主導の業務改善を推進し、各職場及び職員が事前に対策を講じる積極的な（プロアクティブな）行動を促すことで事務の適正な執行を確保し、市民の期待と信頼に応える、質の高い行政サービスを継続的に提供します。

【令和2年度実績】

- ・市役所内に「働き方改革推進チーム」及び「職場環境改善ワーキンググループ」を設置し、職員満足度調査を実施した。
- ・「職員満足度調査」の分析結果を反映した「甲府市業務改善ガイドライン」を策定した。
- ・職員提案制度について、実施要領の見直し（提案の実現等に向けたワーキンググループの設置や「提案参加型研修」の活用について）を行い、推進した。
- ・市役所各部内の流動的・配置変更の基本的な考え方と積極的な運用について周知を行った。

2 協働して未来に進む市政創り

48 市民活動の支援と応援

【概要】

協働によるまちづくりを支援する拠点施設として「甲府市協働支援センター」を設置し、地域で活躍する方の創出や、市民活動の活性化を図るとともに、地域課題の解決に向けて市民、行政、自治会をはじめとする各種団体、NPO・ボランティア団体、事業者などの多様な主体が協働して地域課題を明らかにし、解決に向けて取り組むことができるよう支援します。

【令和2年度実績】

- ・「西庁舎の運用方針」、「甲府市協働支援センター運用方針」を策定し、センターの開設及び地域カルテを作成した。
- ・実施要領の作成、調査の実施・集約、協働支援センターHP（新規作成）でのボランティア登録の周知・啓発を行った。
- ・広報及びマスメディアを活用した周知、地域人材育成研修の実施並びに各種研修会等へ職員が参加した。
- ・地域カルテに基づき課題の抽出及び地域との検討会の実施、庁内の連携・支援体制の制度制定を行った。
- ・協働支援センターに設置した相談窓口や情報コーナーの運営、及び市ホームページにて周知・啓発を行った。

49 データの活用方法の確立

【概要】

ICT技術の進展によるデータ活用が容易になったことから、過去のデータから個人の健康問題を予測した予防型のサービスを展開するなど、積極的なデータ活用とデータに基づく施策形成に取り組めます。

【令和2年度実績】

- ・オープンデータ化の拡大（介護施設及び文化財の情報掲載）を図った。
- ・職員研修を実施した。
- ・データ利活用ルールの検討（高齢者の居住場所と路線バスの範囲をGISでマッピングし、交通政策への参考として活用）を行った。

50 行財政の改革と更なる財政健全化

【概要】

人口減少・少子高齢化が進行する中、市民サービスの持続性を確保するとともに、更なる行政サービスの向上を図るため、選択と集中によるスクラップアンドビルドにより一層の行財政改革を進め、効率的で健全な自治体運営を確立します。

【令和2年度実績】

- ◎歳出抑制
 - ・「未利用不動産等に関する財務事務の執行について」を包括外部監査の監査テーマとし、外部監査人によるヒアリングを実施した。
 - ・行政評価の結果を予算編成へ反映した。
- ◎歳入確保
 - ・新たな広告媒体の導入を検討した。
 - ・低未利用資産の調査及びヒアリングを実施した。
 - ・自主財源確保に向けたヒアリングの実施及び実施後の進捗管理を行った。
 - ・クラウドファンディングを実施した。
 - ・新たな広告媒体を導入した。

51 AI・RPA等の導入

【概要】

AI（人工知能）・RPA等（業務の自動化）の最新の技術を活用して効果的・効率的な行政運営を確立し、新たな市民サービスの創出、迅速な市民サービスの展開、均一な質の高いサービス提供を目指します。

【令和2年度実績】

- ・議事録AI、WEB会議端末、長時間労働抑制システムを導入した。
- ・窓口混雑情報リアルタイム配信システムを導入した。